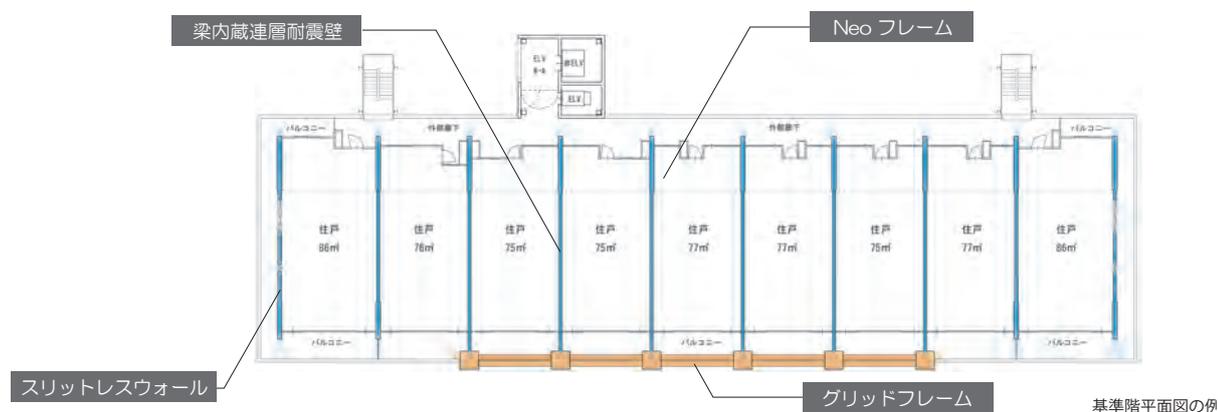


Neoシリーズ第2弾「Sulatto 3 Neo (スラット3ネオ)」発表 共用廊下側の梁型・柱型の無い より「住みやすい」住空間を実現

Neo フレームを用いた免震高層板状マンションのシリーズ第2弾「Sulatto 3 Neo[※](スラット3ネオ)」。壁と床による構造フレームを共用廊下側に設置することで、住戸玄関側の居室内外に梁型・柱型の無いマンションを実現しました。20階程度までの超高層マンションでこれまでにないスッキリとした共用廊下空間をデザインでき、居室有効空間の増大・開口部の自由度向上・設備配管の梁貫通撤廃が可能となります。

※特許出願中、Sulatto は当社の商標登録



基準階平面図の例

居室有効空間の増大

「Sulatto 3 Neo」では共用廊下側に**梁型も柱型も無い**ため、居室内外にこれまでのような出っ張りがありません。そのため机やベッド配置が自由になり、平面的に実質1m程度のゆとりが生まれます。例えば玄関ホールを広げて自転車などの大切なモノを保管・収納したり、ベンチを設置したり等、延べ面積を増やすこと無く付加価値の高いプランニングが可能になります。

開口部の自由度向上

廊下側居室内外に梁型・柱型が無いので、サッシ設置位置や大きさがこれまでより自由になります。サッシを居室の幅いっぱいに広げて**ハイサイドライト**とすれば、換気・採光を確保しながらも外から覗かれにくく、プライバシーを守ります。そうして生じた壁面には大型TVや飾棚を設置したり、アートを展示したりすることが可能で、居室の使い勝手が大幅に向上します。

設備配管の梁貫通撤廃

「Sulatto 3 Neo」では免震構造に加えて共用廊下側にNeoフレームを、バルコニー側には構造体を一部に集約したグリッドフレームを、戸境壁には梁内蔵連層耐震壁を採用しています。これにより住戸全体で梁型の無い空間が実現するので、設備配管の躯体干渉が減るとともに妻側以外は**梁貫通がゼロ**になり、不具合発生箇所を大幅に減らすことが可能です。

玄関に自転車を保管

柱型が無く家具配置が容易



壁上部に設置されたハイサイドライト

共用廊下側居室のプランニング例



梁型・柱型の無い居室空間 イメージパース

もっと、きもちいい、マンションへ



三井住友建設

設計本部 設計管理部 商品企画グループ
http://www.smcon.co.jp/sukkit/